

**お母さん、見ていてね**

〇ちゃんのお母さんが虹の橋を渡って2か月が過ぎようとしています。

事務所で1人仕事をしていると〇ちゃんがやってきて「園長、独りぼっちは淋しいから〇ちゃんが側にいてあげるからね」と言って子ども用の椅子を自分で持ってきて、横にちょこんと座ってくれました。何を話すわけもなく、ただ横に座って、私の作業をじっと見ていてくれます。そこにはなな組のUくんがやってきました。3人でいろんなことを話していると、〇ちゃんがふっと「〇ちゃんのママ、天国に行ったんだよ！」と話し始めました。Uくんが「優しい人は天国に行くっておかあさんが言ってたよ！」と話してくれます。すると〇ちゃんが「だったら〇ちゃんのママは天国に行ってるね！」とニコッと笑顔を見せてくれました。

担任によると、〇ちゃんが「綾子さん(担任)は〇ちゃんのこども園のお母さんだよな？」と聞いてきたそうです。あの日、お母さんの乗った霊柩車を見送りながら、担任にしがみついて泣いている〇ちゃんの姿を忘れることができません。大好きな絵をかくときも必ず「ママへ・・・」という文字を、付け足すそうです。時々、担任に抱っこしてもらってる姿も見かけます。そんな時は、きっと優しくママを重ねているのかな？と思います。

Uくんの優しい言葉を聞いて、ほっとしたんでしょうね。「〇ちゃん、お外に行ってみんなと遊んでくるからね！」と元気よく走って事務所を出ていきました。事務所に1人である私が淋しく見えたのではなく、〇ちゃんが少しママを思い出して淋しかったんでしょう。元気に走っていく後姿を見ながら、「〇ちゃんのママ、〇ちゃん頑張っていますよ。天国から見守っていてくださいね！」と思うことでした。

子ども達は、事務所に友達とけんかして心がざわついたり、何となく元気が出なかったりした時にやってきます。少しだけここに来て、ひとりで塗り絵をしたり、パズルをしたりして心を落ち着かせ、元気を取り戻して、みんなの輪の中に帰っていきます。学校で言う「保健室」みたいなところです。困った時、パワーが出なくなった時にここに来れば、元気になれる！子ども達の大事な居場所になっています。この居場所を大事に大事にしていきたいと思います。

**親が肩の力を抜くと、親が楽になります。 親が楽になると、子どもも楽になります。**

そうすると、険悪な家庭の雰囲気も次第に和んで、笑いが出るようになります。親も子どもも、外ではいろいろ気を使って疲れているのです。せめて家庭だけでも、ほっとしたい、とみんなが願っているのではないのでしょうか？

子どもにかける言葉でどんな言葉が多いですか？

「早くしなさい！」「しっかりしなさい！」「ちゃんとしなさい！」「礼儀正しくしなさい(ほら！挨拶は)」私自身、わが子にたくさんこんな言葉を浴びせながら子育てをしてきたような気がします。少し大きくなると「勉強しなさい」「人に迷惑を掛けてはいけません」・・・たくさんたくさん禁止・命令の言葉で子育てをしてきました。きっと、窮屈だったに違いありません。こんな言葉を言いながら、自分は母親としてしっかりしていたのか？ちゃんとできていたのか？人に迷惑を掛けずに生きてきたのか？・・・疑問です。

娘が高校3年生で大学に行くときに、「子どもが自分のもとにいるのはたった18年しかいないんだ！」と気づいたときに、愕然としたことを思い出します。県外で就職したり、嫁いだりした場合、後は年に数日しか一緒にいられないんだ・・・と思ったら、子どもとけんかをしてる場合じゃない！いがみ合ってる場合じゃない！と強く思ったことがあります。

今、6歳の子どもがいたら、あと12年しか一緒に生活できない。と思うと「今」を大事に少し肩の力を抜いて、子育てを楽しんで欲しいと心から願います。